



辻堂東海岸二丁目町内会（藤沢市）

町内会イベントに加えるひと工夫

■助け合い、支え合いをモットーに

辻堂東海岸二丁目町内会は、相模湾に近いため住民の津波災害に対する防災意識が高く、避難訓練を中心に様々な活動が活発に行われています。

「地域のつながりを大切に、「助け合い、支え合い」をモットーに、楽しい自治会を目指しています」そう話すのは、町内会長の関口 望さん。

■毎年一つの新規イベントと様々な工夫

毎年定例のイベントに加え

て、地域の方が参加したくなるような新しいイベントを一つ開催しています。なぜなら「例年どおりにやるのは簡単ですが、地域のニーズは時代とともに変化するので、そうした声に耳を傾けて、どうしたら地域がもっと良くなるか、と考えることが大切」との想いからだそうです。

最初は、新たなイベント企画に対して、メンバーから運営面や集客面での不安の声もありましたが、前向きに議論を重ね、最近では、

ハロウィンイベントや町内バザーなどを実施しました。企画・運営は大変ですが、喜んでくれる方が多く、それが励みになるそうです。

また、イベントを開催するには、何かひと工夫加えています。例えば町内一斉清掃後の芋煮会では、災害時に使用する鍋やガスコンロ等の機材で炊き出すことで、防災に関する知識の共有や機材の点検にもつながるといった工夫です。社会福祉協議会の取組みを参考に始め



た町内バザーでは、高齢者に代わって近隣の方が荷物を運ぶなど、みんなが参加できるよう工夫しています。

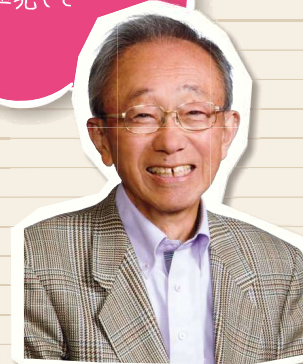
「新しいイベントの開催とひと工夫により、年々地域の参加者が増えています」と関口さんは話します。

■スムーズな町内会運営を可能にするしくみ

こうした取組みを可能にしているのは、三役会（会長、副会長、書記、会計）、部長会（三役会、部長・副部長（防犯部ほか7部）、役員会（三役会、部長会、組長、監査役）で構成さ

一言アドバイス

多くの方に参加してもらうためには、前向きな姿勢で自ら率先して取り組むことが大切。



辻堂東海岸二丁目町内会
会長 関口 望さん

成功のコツ

- ・地域の声にしっかり耳を傾け、ニーズに沿った新しいイベントを毎年一つ実施
- ・スムーズな町内会運営を可能にする、負担分散型の3段階組織形態
- ・イベントにみんなが参加しやすい要素を盛り込む工夫

れる3段階の組織運営です。もともと役員会のみ（1段階）の組織運営でしたが、会議の中で、議論できる段階のものと時期尚早のものが混在し、検討に時間がかかってしまうという課題を解消するために考えられました。毎月1回開催される会議では、「押し付けない」「みんなの意見を聞く」を徹底していることも一つの特徴です。三役会・部長会で行事の企画など柔らかい議論を行い、そして役員会で審議し最終決定することで、企画立案から決定までがスムーズに行われています。

■今後の課題は担い手づくり

関口さんに今後の取組みについて伺うと、「町内会員も会員じゃない人も、地域みんなが楽しめるようなイベントをこれからもやっていきたい。そして、この辻堂東海岸二丁目町内会を継続していくために、担い手づくりにも取り組んでいきたい」とのこと。

イベント当日には、町内を車で回り、マイクで参加を呼び掛ける関口さん。地域のことを誰よりも考え、そして行動する関口さんを中心とした辻堂東海岸二丁目町内会の取組みは地域の活性化に大きく貢献しています。